

同窓会通信



高知県立
中村高等学校
同窓会

〒787-0003
高知県四万十市
中村丸の内24
中村高校総務部

同窓会長ご挨拶
今城 京助 (S48年卒)

師走の候、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。又、皆様には日頃から同窓会活動にご協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。

さて、私は、本年度、令和六年八月十日開催の同窓会総会におきまして、本部同窓会会長を仰せつかりました、昭和四十八年卒の今城京助と申します。十数年前、寺尾会長の時に本部役員となつて以来、ずっと副会長を務めさせていただいておりました。しかしながら、コロナ禍を経て、柔道部一級先輩の前会長であった遠近会長から、「俺の後はお前がやれ」とのご下命を賜りまして、古希を迎えましたが、拝命した次第です。ちなみに、歴代の会長は、四万十市内の方々ばかりの

ようですが、私の出身地は宿毛市平田です。そのような私ですが、大役を引き受けさせていただいたからには、微力ながら、一生懸命務めて参る所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

本年度の総会は、福永副会長の開会の辞で始まり、遠近会長、宮地校長の挨拶の後、議事に入り、第一号議案から第三号議案まで承認されました。本年度は役員改選の年でしたので、遠近会長と、美口副会長が退任され、副会長の後任に、昭和五十五年卒の岡本眞一氏と、平成二年卒の上岡尚哉氏が選出されました。遠近氏におかれましては、今後、後会の運営等にお力添えをいただきたく、顧問として残っていただくようお願い申し上げます、それぞれ総会

にて承認をいただきました。執行役員の皆様もだんだんと若返っているようで嬉しく思います。

今年の総会には八〇名程の参加をいただきましたが、まだまだ若い会員、特に「平成」世代の卒業生の参加が少なく、今後どのようにすれば参加していただけるのか、皆様と共に考えていかなくては、と思っております。又、例年のことですが、女性の方々の参加も少ないので、何かいい手立てはないものか。ぜひ、会員の皆様の忌憚のない御意見をお待ちしております。

今年も例年通り、総会当日の午前中から親睦ゴルフ大会も行われました。今年のゴルフ大会も大盛況でしたが、ゴルフ担当の福原副会長、本当にご苦労様でした。

最後になりましたが、高知支部長小野二三雄様、東京支部長立目浩文様、名古屋支部長岡村隆幸様をはじめ、各支部からも本部同窓会総会、及び懇親会に参加していただき、会を盛り上げてくださいましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

め、各支部からも本部同窓会総会、及び懇親会に参加していただき、会を盛り上げてくださいましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。



中村高等学校同窓会総会

学校長ご挨拶
宮地 秀伸 (S57年卒)

同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動に物心両面からご支援を賜り、心から感謝申し上げます。母校の校長として赴任して四年目となりました。

幡多地域の中心的役割を果たす学校として、子ども達の成長を感じつつも、更なる歴史と伝統を刻むべく、日々の教育活動に尽力しているところです。今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたします。

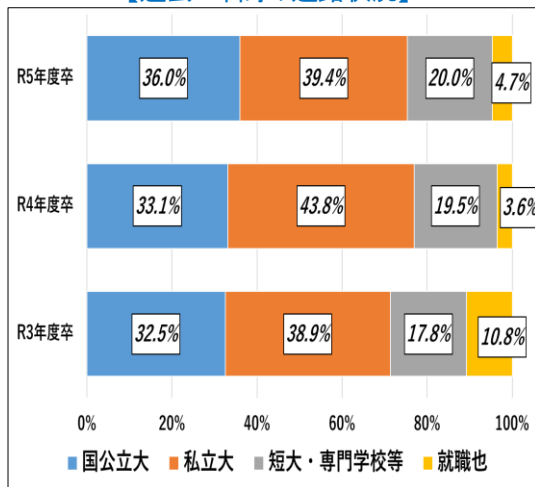
まず、人口減少の地域にあつて、近年定数に達していないのが現状です。特に、分校は四国で一番少人数の全日制高校となっており、広く全国募集に尽力しているところです。

施設面では、併設中学校の学校給食に対応する第2中学校棟と分校の寄宿舎が新設されるなど環境面でも大きな変化を遂げております。

進学面では、国公立大学には卒業生の三十六%が現役合格するなど、実績を着実に積み上げています。また、部活動においては、世界大会（デフユース選手権大会）には陸上部、全国大会には、本校の陸上部、柔道部、音楽部と分校のカヌー部が出場し、文武両道を実践しています。加えて、自分・地域・未来のことをしっかりと探究する学習にも力を入れており、「勉強力」「実行力」「探究力」をバランスよく身に付ける教育活動に取り組んでいるところです。

今、教育を取り巻く環境や社会情勢の変化は目まぐるしく、私たちの想定を遥に越える波が押し寄せています。しかしながら、打ち砕くべく流れに抗うのでは

【過去3年間の進路状況】



なく、新たな進化の機会と捉え、「地域の宝」である子どもたちがやがては故郷であるこの地域の未来を担う人材となるよう教育活動に邁進していく所存です。

同窓会各支部総会に参加させていただく度に、同窓生の想いと熱をひしひしと感じております。同窓会活動の原動力は母校の活躍です。我々教職員はこれまで以上に同窓生の皆様方のご期待に応えるべく全力で教育活動に取り組んでまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様方の更なるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

【部活動】

- 体育系12、文化系15の部活動
- 入部率99.6% (兼部含む)
- 全国大会出場 (令和5年度)
ソフトテニス、陸上、柔道、美術、音楽、ダンス
- 四国大会出場 (令和5年度)
ソフトテニス、陸上、柔道、水泳、卓球、ダンス
＜その他＞・世界ユースデフリンピック陸上200m銀・400m銀
・日本クラシック音楽コンクール全国大会5位
- ＜参考＞ 甲子園出場：野球部(7年前春)



本部総会報告

八月十日(土)、今年も料亭「吾妻」にて同窓会総会が開催されました。しかしながら、開催二日前の八月八日に南海トラフ地震臨時情報が発表され、会員の皆様、また本部も大変不安を抱える中での開催となりました。

そのような中ではありましたが、総会、懇親会には、東京・名古屋・高知の各支部からの御出席も含め、八十名の御出席をいただき、無事、盛大に開催できましたことを心よりお礼申し上げます。

来年度も今年度以上の盛り上がりとなるよう、同窓生の皆様、お誘い合わせの上、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。

(事務局)



【本部執行役員】

顧問	寺尾 省三 (40)
顧問	遠近 巖 (47)
名誉会長	宮地 秀伸 (57)
会長	今城 京助 (48)
副会長	亀谷 暢子 (47)
副会長	福永 和孝 (54)
副会長	岡本 眞一 (55)
副会長	福原 紀夫 (56)
副会長	上岡 尚哉 (52)
副会長	西澤 和史 (62)
監事	杉本 浩子 (48)

* (数字) は卒業年

【次年度の本部総会】
令和七年八月十六日(土)

大阪支部活動報告

支部長 森田耕吉 (S48年卒)

「言わないかんちゃ」

今年の八月半ば、南海トラフ巨大地震注意報が発令された。数多くの専門家に議論がなされた後に発令された勇気ある注意報に拍手を送りたい。

今から百二十年前にドイツの地球物理学者で気象学者のウェーゲナーが大陸移動説を提唱した。しかし、周りから袋叩きに合い認められることはなかった。彼は大西洋を挟むアフリカ大

陸や南北アメリカ大陸の地層や化石を丹念に調べて、これらの大陸がかつては一つにつながっており、少しずつ移動して離れて行ったと結論付けたが、当時の知見では、大陸を移動させる原動力が説明できず、やがてすたれていった。

一九三〇年、彼はグリーンランドの奥地にその証拠を求めて旅立ち、消息を絶った。しかし、一九五〇年以降、古地磁気学、海洋底



拡大説、プレートテクトニクスなどの学説が次々に提唱されて、大陸移動説が見直されてきた。

南海トラフ巨大地震は、専門家によると、二〇三〇年代の半ばを挟んでプラスマイナス五年前後に起こると予想されている。

専門家の発言を軽く見てはいけない。

【令和六年度活動報告】

令和五年十月二十日(金)
総会新会場の下見と打ち合わせ

令和五年十二月九日(土)
総会新会場での忘年会

令和六年三月下旬
総会案内文の発送

令和六年五月十九日(日)
総会直前の打ち合わせ(役割分担※諸事情により中止)

令和六年六月一日(土)
大阪支部総会・懇親会

令和六年十月十七日(木)
会報誌「四万十川」の発送

令和六年十月二十五日(金)
同窓会本部への原稿発送

【大阪支部役員】

顧問	堅田 順一 (29)
顧問	文野 肇 (35)
顧問	吉本 弘 (37)

* (数字) は卒業年

高知支部総会は令和六年九月二十一日(土)午後六時より高知会館で開催、支部長の開会の挨拶後、ご来賓として今城京助同窓会々々長、岡本寿明四十市々々代理、宮地秀伸校長、芝郁尾崎正直衆議院議員代理より挨拶があり、各支部から福永和孝同窓会副会長、光内志津同窓会事務局、立目浩文東京支部支部長、中村朝子東京支部副支部長、岡村隆幸名古屋支部支部長、森田耕吉大阪支部支部長のご紹介、総勢八十三名の出席、引き続き沖田益男

高知支部活動報告 支部長 小野二三雄 (S40年卒)



顧問 吉本 正男 (38)
顧問・副支部長 (会計) 山崎 和裕 (40)
支部長 森田 耕吉 (48)
※事務局を兼務
副支部長 (企画) 林 永年 (50)
会計監査 橋田 國身 (38)
会計監査 小山 節子 (40)
幹事 土居あや子 (42)

【次年度の行事等のお知らせ】

令和七年六月十四日(土)
大阪支部総会・懇親会

氏より会計報告、小島一水氏の監査報告、皆様の了承後、浅野正倫顧問より乾杯の挨拶で開宴。
今年の元旦(令和六年)に、能登半島地震、翌一月二日には、羽田で日本航空と海上保安庁の飛行機が衝突事故発生、日本航空の乗客・乗務員に一人の犠牲者が出なかったことは、幸いでしたが海上保安庁の乗務員がお亡くなりになったことは非常に残念で心が痛みました。
七月二十六日〜八月十一日のパリオリンピック、レ

スリングで本県出身の桜井つぐみ選手・清岡幸太郎選手の手金メダル、パラリンピック(八月二十八日〜九月八日)でも車イスラグビーの池透暢選手の県勢初の金メダル、女子円盤投げでは、鬼谷慶子選手の銀メダル、この快挙に久しぶりに感動しました。
毎年、春と秋、年二回親睦ゴルフコンペを土佐カントリークラブで開催、四月二十九日(祝)九組三十五名の参加があり、米津正清様(昭和四十七年卒)が優勝、同日室戸コース五番ホールで上原昇様(昭和四十七年卒)がホールインワン達成、七月二十日(土)記念コンペ開催、豪華な大会となりました。秋は九月二十一日(土)八組三十一名の参加があり、春に続いて米津正清様(昭和四十七年卒)が優勝されました。

【次年度の行事等のお知らせ】 令和七年九月十三日(土) 高知支部総会・懇親会

【高知支部役員】

* (数字) は卒業年
名誉顧問 島津 栄一 (32)
顧問 浅野 正倫 (33)
顧問 土森 正典 (38)
支部長 小野 二三雄 (40)
副支部長 尾崎 祐正 (41)
副支部長 坂本 安廣 (42)
副支部長 山崎 澄夫 (47)
副支部長 中平 雅彦 (48)
副支部長 上田 哲也 (51)
副支部長 中澤 慎二 (51)
副支部長 福留 利也 (54)
幹事 大原 晋 (40)
幹事 小島 一水 (44)
幹事 岡崎 憲 (44)

今城京助新同窓会会長のものと、中村高校同窓会の益々のご発展・ご隆盛を祈願し、近況報告とさせていただきます。

【令和六年度活動報告】

令和六年四月二十九日(祝) 春の親睦ゴルフコンペ
令和六年九月二十一日(土) 秋の親睦ゴルフコンペ
令和六年九月二十一日(土) 高知支部総会・懇親会

幹事 夕部 富三 (45)
幹事 上岡 まゆみ (45)
幹事 小島 幸年 (49)
幹事 島村 忠司 (49)
幹事 山田 昇 (49)
幹事 谷 一幸 (51)
事務局 宮川 哲 (40)
事務局 木戸 正昭 (37)
事務局 橋田 典人 (41)
事務局 沖田 益男 (49)
会計 三宮 幸加 (44)
監査 坂本 安廣 (42)
監査 小島 一水 (44)



東京支部活動報告 支部長 立目浩文 (S61年卒)



十月十九日、東京支部第七十三期総会および懇親会を東武ホテルレバント東京にて、開催致しました。参加者数は東京支部総会員数六四一名に案内を発送し、ご来賓を含み総勢五十名と少ない人数となりましたが、大変盛り上がった総会になりました。
今年は、ご来賓として、宮地校長や総務部長の光内先生、今城同窓会長や支部長、他校同窓会からもご出席頂きました。また、初参加の同窓生の参加もあり、今後の出席者増員へも少し明るい兆しが見えてきたと期待しております。
今回の総会では、第一号議案の役員改選について、第二号議案の決算報告について、第三号議案の次期事業計画および予算案について、審議頂きまして、満場一致でご承認頂きました。

そして、昭和三十一年卒の長谷川浩子氏による特別講演を実施して頂きました。

その後第十四代山下幸夫前支部長による乾杯のご発生で懇親会が始まり、アトラクションのくじ引き大会や世代を超えての「おきやく」となり、大盛り上がりの中に、三時間という時間があつという間に、過ぎ去りました。懇親会の最後は、東京支部恒例の参加者全員による校歌斉唱を、昭和三十三年卒の山崎益宏さんの先導のもと、大合唱にて終わりました。

帰り際には、「良い総会、懇親会だった。」「また、来年会いましょう」と誓い合い解散となりました。

【令和六年度活動報告】

令和六年四月十三日(土)
緑を楽しむ会「イタドリ採り」(多摩川河川敷)

令和六年七月二十日(土)
ボウリング大会(参加者不足により中止)

令和六年八月四日(日)
支部より発送

令和六年十月十九日(土)
第七十三期総会・懇親会

【東京支部役員】

* (数字) は卒業年

支部長	立目 浩文	(61)
副支部長	中村 朝子	(55)
副支部長	武内 初男	(58)
副支部長	石丸 芳子	(62)
監査役	林 哲司	(63)
幹事	小橋 眞一	(47)
幹事	中野 正三	(40)
幹事	稲田 義克	(44)
幹事	安藤 幸代	(49)
幹事	武田 正人	(55)
幹事	小椋 瑞穂	(62)
幹事	小谷 昭仁	(63)
幹事	片山 結意	(63)
幹事	小川 愛生	(63)
幹事	山下 幸夫	(44)



名古屋支部活動報告

支部長 岡村隆幸 (S46年卒)

平素は名古屋支部活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。又同窓会の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。さて、今年の総会は十一月九日(土)にアイリス愛知にて開催致しました。

ご来賓に、同窓会本部より今城京助会長、宮地秀伸中村高校学校長、光内志津事務局長、大阪支部森田耕吉支部長、東京支部中村朝子、石丸芳子両副支部長、中野正三幹事(土佐幡多の会会長)、四万十市市長代理



【次年度の行事等のお知らせ】

令和七年四月十九日(土)
緑を楽しむ会

令和七年七月十九日(土)
ボウリング大会

令和七年八月上旬
支部より発送

令和七年十月十八日(土)
第七十四期総会・懇親会

として山崎寿幸総務課課長、高知県名古屋事務所窪内賢所長、宿毛高校、清水高校の方々をお迎えし、また、高知県人会の方から中村高校六十一卒の、林正和君をご紹介いただき、初出席され、盛大に開催することが出来ました。二次会でも盛り上がりは最高潮で、皆よく食べ、よく飲み、同窓生の方々と楽しく親睦が深められたと思います。

今年は役員改選の年でありましたが、あと少し支部長の任を務めさせていただきます。来年は恒例になっている新年会、お花見会、役員会に加え、今年開催出来なかった親睦ゴルフ会を再開したいと思っています。そして、まだ実現していないボーリング大会と麻雀大会を是非とも開催し、より一層親睦を深め、同窓会の団結が、より強固となり、楽しい同窓会になるよう努力していきたいと思っております。最後に中村高校同窓会の益々のご発展と会員皆様方のご健康をご祈念申し上げます。活動報告といたします。

【名古屋支部役員】

* (数字) は卒業年

顧問	宗崎 久宜	(27)
支部長	岡村 隆幸	(46)
副支部長	有友 孝博	(58)
副支部長	石橋 美絵	(63)
副支部長	寺田 道子	(40)
幹事	土森 道雄	(40)
幹事	森田 哲夫	(40)
幹事	熊谷 不二	(42)
幹事	倉橋 幸代	(46)



【令和六年度活動報告】

令和六年二月三日(土)
役員会・新年会(わらやき屋名古屋)

令和六年三月三十一日(日)
役員会・花見会(岡崎ニユーランドホテル)

令和六年十一月九日(土)
総会(アイリス愛知)

【次年度の行事等のお知らせ】
令和七年十一月予定
総会（アイリス愛知）



幹事	嶋津久美子 (46)
幹事	吉田茂 (53)
幹事	長谷川雅彦 (57)
幹事	千代岡勇介 (62)
幹事	鈴木恵美子 (62)
幹事	杉谷麻衣 (44)
幹事	福井克典 (41)
幹事	上田省三 (41)
監査	宮村誠一郎 (40)

中村高校西土佐分校同窓会 会長 佐々木英人 (S57年卒)

同窓会の皆様には、日ごろより、本校教育活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

西土佐分校は今年度、四名の新入生を迎え、全校生徒十九名の四国一の小規模校となっています。

引き続き、生徒数を確保し多くの皆さんに学んでもらう学校にするために「西土佐分校存続推進部会」を設置し、魅力ある学校づくりに取り組んでおります。

また、令和五年度より「地域みらい留学」に参加し、生徒の全国募集を始め、県外や西土佐地域外の生徒のオープンスクールへの参加や受験に関する問い合わせが徐々に増えてきています。青葉寮も移転工事が完了し、四月より新しい寮での生活が始まっています。

今後も県教育委員会や四万十市、西土佐地域が一体となり、同窓会の協力も得ながら「地域とともにある学校」「地域になくてはならない学校」をめざしてまいります。

以下に学校行事等の写真



地域ボランティア隊
ラポール
木工教室



カヌー部
2024 大分インターハイ
カヤックフォア

を掲載し、近況報告いたします。



【学 校 行 事】



9/13 清流度調査



9/29 地域合同体育祭

同 期 会

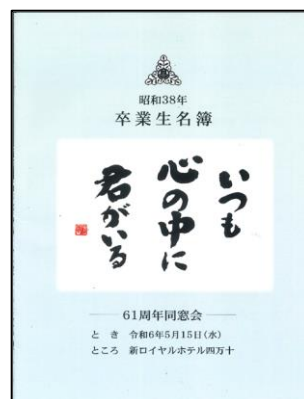
【昭和38年卒同窓会(61周年記念)】

連休明けの5月15日、卒業から61周年同窓会を開催しました。当日の参加者数74名。我々の学年は参加者が多いのが自慢です。30周年の時は、205名集まり、記念撮影は2組に分かれました。「我々は『同級生』と『同窓会』という言葉に弱いね!」と異口同音。「5年周期と言わずに、来年もまた集まろうよ」と、大いに盛り上がった1日でした。

昭和38年卒業 矢部泰子



令和6年5月15日 於 新ロイヤルホテル四万十



【昭和54年卒業生(卒業45年同窓会)】

昭和54年卒業 前田和哉

昭和54年3月に中村高校を卒業し、45年の月日が経過したこの8月17日に、同窓会を行いました。前回は平成30年に実施し、5年に一度は集まろうと言っていたこの会ですが、新型コロナが落ち着き6年ぶりの開催となりました。

64歳となる顔ぶれは、既に仕事をリタイアした方や、子育てが終わり「孫の成長をたのしみにしている」など、少し余裕のある言葉も聞かれました。反面、この間に亡くなった方もちらほらおり、改めて健康には気を付けて暮らさなければと思った次第です。

世の中はSNSが主流となりインスタやフェイスブックなどと聞かれますが、私たちの年代には既に無理と言う方が多くいます。それでもスマートフォンは皆持っていますので、「54年卒」のグループLINEを立ち上げアルバムを作成しました。これに当日の写真をアップし共有いたしました。当日出席できなかった方も、後日グループに参加してくれたり、自分で専門書を執筆されている方がグループLINE上で本を宣伝し、読んだ方が「すごいね!」と感想を投稿したりもしました。その後も「昨日、〇〇さんとばったり会いました」などの近況投稿は続いています。

同級生の皆さん、これからも投稿を続け5年後の同窓会をたのしみに一日一日を過ごして行きましょう。



同 期 会

【昭和48年卒(第24期)】《古希同窓会》

2024年11月16日、吾妻にて51名の参加で同窓会を行いました。

スローガンは「久々の再会、古希の祝い、共に喜び合おう」です。

卒業以来52年の年月が過ぎました。亡くなられた方に黙禱をささげ、中平定男君の開会宣言で会が始まりました。世話役を任された私今城が開会の挨拶をした後には、恩師の「本田豊稔」先生からお言葉を頂くことができました。そして、中平雅彦君の乾杯の音頭、写真撮影の後、懇談に入り、校歌斉唱もしました。

同期の西尾澄気君は、【日本作曲家協会 ソングコンテストグランプリ 2024】を受賞されたそうで、私たちに披露してくださいました。曲名は「男が母を想う時」です。誠におめでとうございます！

昔話に花が咲き、大いに飲んで、語り、あっという間に2時間が過ぎました。それから30数名で2次会へ。歌って騒いで、再会を約束して散会しました。

今回出席出来なかった同窓生の皆さん、次回は是非とも参加してください。

昭和48年卒業 今城京助



★令和5年度同窓会協力金について★

「[令和5年度同窓会協力金会計決算書](#)」・「[ご協力いただいた方々
の名簿](#)」・「[同窓会協力金通信欄（メッセージ）](#)」につきましては、
このHP 上同窓会のページ内「[同窓会協力金のお願い](#)」に載せて
おりますので、ぜひご覧ください。